

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成17年2月24日(2005.2.24)

【公開番号】特開2004-199105(P2004-199105A)

【公開日】平成16年7月15日(2004.7.15)

【年通号数】公開・登録公報2004-027

【出願番号】特願2002-304371(P2002-304371)

【国際特許分類第7版】

G 0 6 F 12/00

【F I】

G 0 6 F 12/00 5 4 6 K

【手続補正書】

【提出日】平成16年3月23日(2004.3.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 8】

次に、図2に示された各データを一時キャッシュデータと永続キャッシュデータとに分類したデータ分類情報の一例を表1に示す。表1において、URL(A)のコンテンツに含まれるデータのうち、データ更新の可能性が高いデータが一時キャッシュデータに、データ更新の可能性が低いデータが永続キャッシュデータにそれぞれ分類されている。このデータ分類情報は、例えば、XMLにより記述され、データ格納手段111に格納される。なお、データ更新の可能性が高いデータとは、例えば、頻繁に内容が書き換えられるHTML文書のデータをいう。また、データ更新の可能性が低いデータとは、例えば、コンテンツが表示されたページを進めたり戻したりするGIF画像で表示されたボタンのデータをいう。

【表1】

デ 一 タ	データ分類結果
HTML文書A	一時キャッシュデータ
スタイルシートA	一時キャッシュデータ
スクリプトタグA	永続キャッシュデータ
GIF画像データA	永続キャッシュデータ
JPEG画像データA	一時キャッシュデータ
音響データA	一時キャッシュデータ
HTML文書B	永続キャッシュデータ
スタイルシートB	永続キャッシュデータ
GIF画像データB	一時キャッシュデータ

【手続補正2】

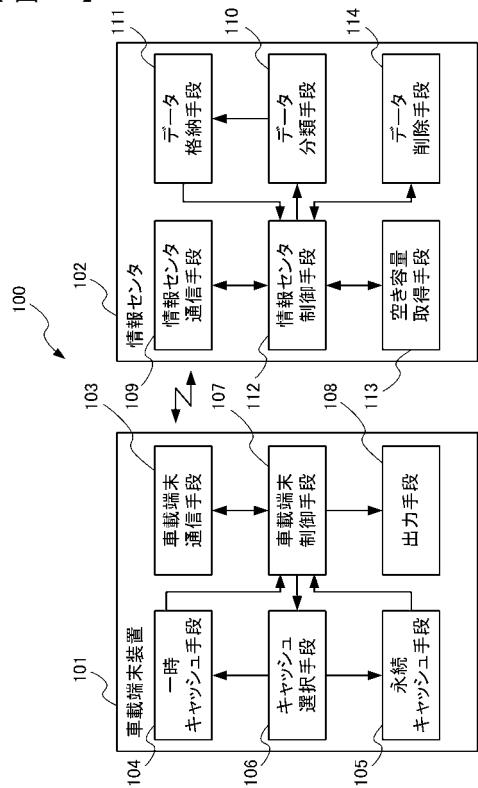
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】全図

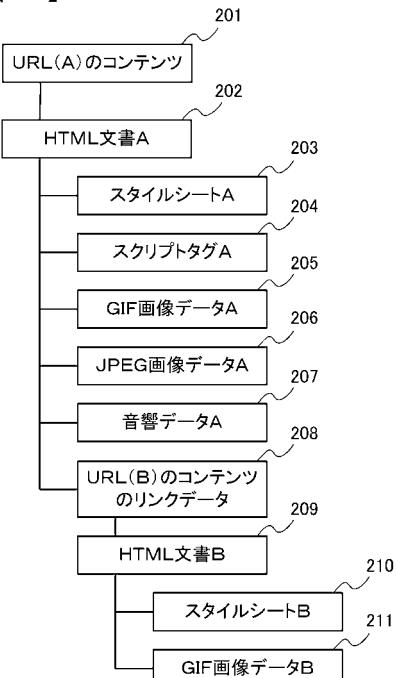
【補正方法】変更

【補正の内容】

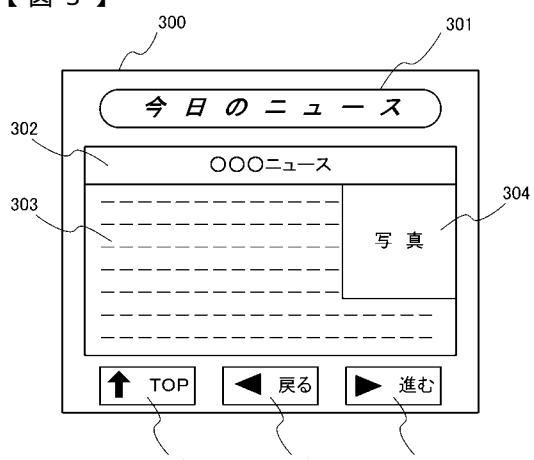
【図1】



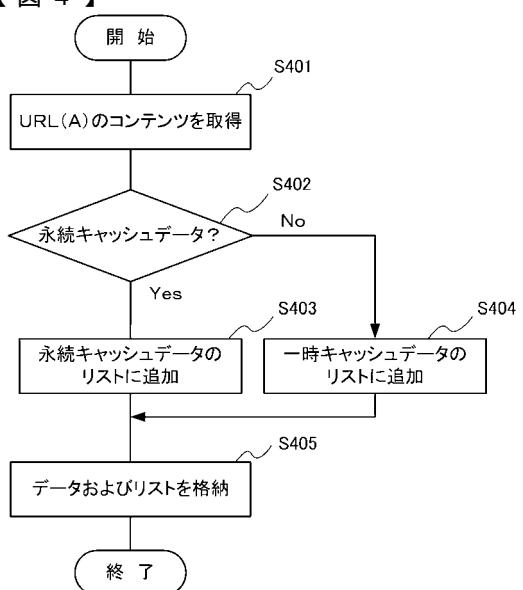
【図2】



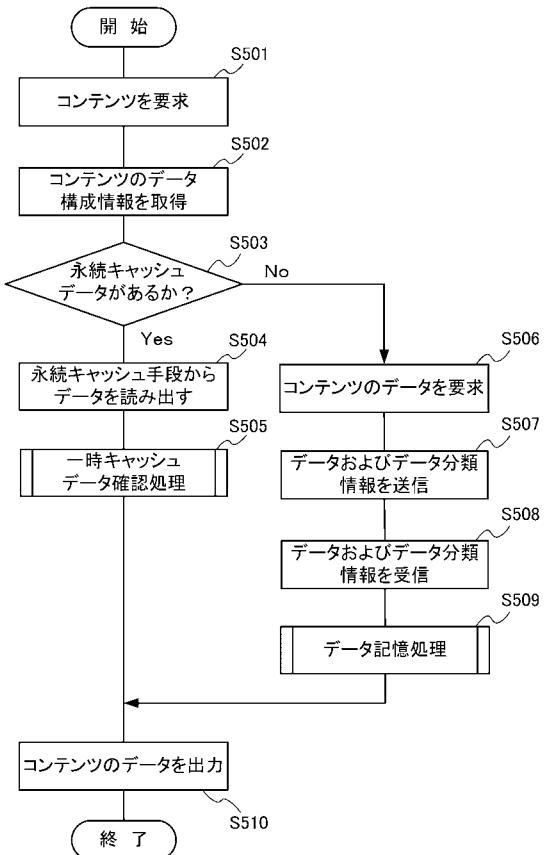
【図3】



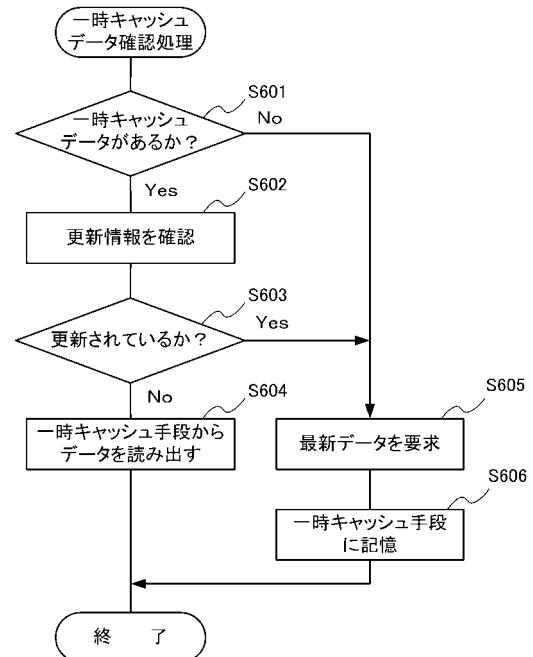
【図4】



【図5】



【図6】



【図7】

